



# つぼみニュース

発行 NPO法人 後見つぼみ

住所 : 横浜市港北区篠原北一丁目9番8号

TEL : 045-834-9320 FAX:045-834-9321

E-mail : kokentubomi@khe.biglobe.ne.jp

ホームページ <https://kokentubomi.wixsite.com/website>

## 2021年度法人後見専門員養成講座

### 研修委員会からのお知らせ

NPO法人よこはま成年後見つぼさ主催の「2021年法人後見専門員養成講座」は、通算で10回目になります。本年度からはつぼさと後見つぼみの共催になりました。つぼさの法人後見がこれまで順調に展開しているのは、毎年、毎年担当者養成講座を行って新たな人材、担当者を確保・養成してきたからと言っても過言ではありません。今年度も9月から開講予定ですが、このコロナ禍で三密を避けなければなりません。

一方で、受講希望者は増加しています。つぼさ、つぼみ両団体で調整し受講者数は12名としました。

しかし、12名にプラスして講師や研修委員を入れての実施にやはり不安が大きく、研修委員会で検討の結果、完全2部制の導入や短縮版で行うカリキュラムに変更しました。

コロナ禍で何かと不自由が多いのですが、法人後見発展のためにご協力ください。

研修員（つぼみ：須田 山野上 つぼさ：熊谷 篠崎 斎藤）

2021年7月31日版

### 2021年度法人後見専門員養成講座カリキュラム

分類	科 目	担当 場所	研修日程
1. 開講挨拶	①開講の挨拶 ②オリエンテーション	渡邊 つぼさ事務所 研修委員会(熊谷・山野上)	9月 7日(火) 13:30~14:55
2. 制度	③成年後見制度の目的と導入の背景 ④成年後見制度概要(法定後見と任意後見)	須田〃 山野上〃	15:05~16:30 A・B入替
3. 朗読劇	⑤家裁申立てアーリング	須田〃	
4. 実務	⑥インターク相談と受任調整会議 ⑦申立て手続きと申立支援	須田〃 熊谷〃	9月 21日(火) 13:30~16:30
実施要領 中心に Aグループ	⑧受任直後の事務	篠崎〃	
	⑨初回家裁報告(演習) ⑩就任中の事務・倫理・心構え・個人情報保護	篠崎〃 渡邊 熊谷雅〃	10月 5日(火) 13:30~16:30
4. 実務	⑪家裁報告・報酬請求と助成事業	熊谷〃	
	⑫インターク相談と受任調整会議 ⑬申立て手続きと申立支援	須田〃 熊谷〃	10月 19日(火) 13:30~16:30
実施要領 中心に Bグループ	⑭受任直後の事務	篠崎〃	
	⑮初回家裁報告(演習) ⑯就任中の事務・倫理・心構え・個人情報保護	篠崎〃 渡邊 熊谷雅〃	11月 2日(火) 13:30~16:30
5. ケースカ ンファレンス (入替・選択)	⑰業務検討会傍聴(経過一覧 活動報告書) 障がい事例(事例概要)	須田〃 担当 岡本	11月 16日(火) 13:30~14:55
	⑱業務検討会傍聴(経過一覧 活動報告書) 高齢事例(事例概要)	熊谷〃 担当 杉本	15:05~16:30
6. 演習	⑲成年後見制度に慣ぐためのアセスメント ⑳後見計画の策定	西田 つぼさ事務所 法政大学助教	11月 30日(火) 13:30~14:55 15:05~16:30 A・B入替
	㉑受講感想 ㉒修了式	須田 つぼさ事務所 渡邊〃	12月 14日(火) 13:30~14:55 15:05~16:30 A・B入替
8. 外部研修 (県社協)	㉓成年後見制度概論 ㉔後見人の実務と法人後見の選任に際して ㉕○○市の市長申立ての現状について ㉖法人後見実施団体からの報告	配信(オンデマンド)	7/14~7/21
9. 外部研修 (市社協)	㉗市民後見人養成研修 ㉘報告会 レポート提出(締切8/14) ysuda@apple.email.ne.jp	配信(オンデマンド) 須田 Zoom	6/4~7/19 8月 21日 14:00~16:00
	㉙コメント	須田	
10. 実地見学	㉚横浜家庭裁判所・法務局実地見学 申立記録から 登記事項証明書発行依頼	篠崎 現地	コロナ禍中止
11. 説明会	㉛審判後(2週間以内)	各団体	

全11日 11単元 26科目 27時間(但し1~7までを必須とします。)

\*講師の都合で、日程、時間等の変更があります。やむを得ない欠席の場合、補講を実施します。

# 接種支援で問われる公助

## ワクチン接種支援等要望書

2021年7月12日、知り合いの市会議員にお会いし、4名の社会福祉士連名で「ワクチン接種支援等要望書」を提出してきました。自分自身の今回の新型コロナワクチン接種の経験を自分自身の問題だけに終わらせるのではなく、社会問題として提起するためです。

### 要望要約

1. 自分自身の命と健康を守るために、ワクチン接種を希望する人誰一人取り残さない「接種システム」「接種予約システム」が必要であること。
2. 高齢者や障がい者への支援システムとしては、神戸市や武蔵野市の行政としての取り組みが報道されているが、我が街横浜でもと願っていること。
3. コロナワクチン接種については、「予約支援専門員」や「ワクチン接種支援員」、「ワクチン接種サポーター」などを提唱してきましたが、認知症サポーターと同様に「ワクチン接種サポーター」を提案したいこと。
4. 私たちは、「ワクチン接種支援チェックリスト」を作っていること。
5. 私たちは、長年NPO法人で認知症高齢者や知的障がい者等の法人後見人としての取り組みを行なっていること。

これに対して市会議員からは、

- ・民生委員、認知症サポーターの役割にワクチン接種支援も加えてはどうか。
- ・高齢者や障がい者への支援システムは、横浜市に確認しておきます。
- ・「ワクチン接種支援チェックリスト」について、疫病やワクチンの説明を受けたかの意味か。
- ・SVとは何か。
- ・要望書は、中山竹春元教授に届けます。
- ・法人後見への相談は多いか

などの質問や回答がありました。話は予期せぬ法人後見にも触れて、とても有意義な話し合いででした。

便物認可 2021.7.7 神奈川

年11月から続く、読者の投稿欄です。

**■接種支援で問われる公助**

NPO法人代表理事 須田 幸隆 77

新型コロナウイルスワクチン接種についての私の投稿「予約支援専門員」が必要だ(6月3日)に、知人から「予約だけではなく、ワクチン接種全般への支援員が必要」との指摘を受けました。同17

日の投稿「ワクチン接種の権利」でも、専門支援員制度の提案がありました。素晴らしい着想で、予約支援だけに焦点を合わせた自分を恥じ入ります。

私は、2回目のワクチン接種支援員」が制度として必要です。接種に当たっては、既に心ある人たちによってさまざまなサポートが始まっています。「国民の命と健康を守る」とたって支援が必要な人がたくさんいます。希望する人は誰一人取り残さないためのシステムを考えるとともに、「ワクチン接種支援員」が制度として必要です。(横浜市緑区)

## ＜特別寄稿＞

### 利用者との関係を大切にする

Sさんは小学2年生から横浜訓盲院で生活をしていましたが、18歳となりグループホームへ移行が決まり、保佐人の申し立てをすることになり、ご縁があつて「後見つぼみ」で引き受けさせていただきました。

担当候補者の岡本様には初顔合わせ、横浜訓盲院への訪問とSさんとの関係をあつと言う間に築いていただきました。先日の家庭裁判所での面接で、「つぼみや岡本さんではない方が保佐人になるかもしれない」と言われSさんが思わず「えっ、困ります」と発言しました。利用者の方との関係を大切にするという「後見つぼみ」の方針に安心してお任せできると実感した一瞬でした。（訓盲院 野口 志乃）

### 『ひまわり☀メイド』～エコなクラフトクラブ～です

日々の活動で出会った元気な先輩方は、それまでの人生や地域のつながりの中で輝いている方が多いなあと感じていました。仕事でも趣味でもそれぞれのフィールドで自己実現できることは、なによりの生きるエネルギーになるからでしょう。

なんのことはない日常生活を最後まで全うできることこそ、最高の幸せなのだと思います。それができなくなつて困っている人がいれば、全力でできる支援をしたいと沸き起こる気持ちが私の動く力になっているとも感じます。お互いさまの精神は、家族のある人もおひとり様の人も関係なく、自身の将来に希望を持たせてくれます。

今回、私たちも老後に楽しめるおしゃべり会を！と長年あたためてきた構想である「エコロジーを考えた手工芸の会」を立ち上げました。命名は『ひまわり☀メイド』と決まったところです。今のところ会員はつぼみメンバー内の少人数、月に1回程度不定期に、ということで、事務所奥の片隅を借りて始めることにいたしました。ご恩返しに、後見つぼみで何か必要なことがあれば、手づくり隊出動の準備をしておきます。

いずれは、エコの主旨をご理解いただける皆さまのお役に立ちたい、そして会の中ではその人らしく咲けるような心地よい居場所づくりができるよう、時間を紡いでいきたいと思います。（理事 高橋 真佐子）

## ＜寄付＞

2021年7月 山野上啓子様  
あらためまして感謝申し上げます。